

3 展 示

(1) 常設展示

『未来へつなぐ熊本の記憶 一集める・伝える・創造する一』をテーマとし、1階は熊本の歴史や文化について、2階では人と自然の関わりを中心に紹介している。

展示資料とともに、キオスク端末による映像資料や解説等も行っている。また、音声ガイドによる外国語ガイド(英語・韓国語・中国語)も導入している。

波奈之丸展示室

重要文化財「細川家舟屋形」(藩主細川氏が使用した御座船「波奈之丸」の船屋形部分)を展示している。大藩で用いられた海御座船の船屋形としては、国内で唯一現存するものである。

才園古墳展示室

重要文化財「肥後国球磨郡免田才園古墳出土品」を展示している。鍔金獣帯鏡や豪華な金銅製馬具類、装身具類、鉄刀などがある。鍔金獣帯鏡は普通の鏡より上位に格付けされ、九州南部の内陸交通の要衝であった人吉盆地の有力者に、近畿中央政権から贈与されたと考えられている。

1階 人文系展示

「熊本の歴史と文化の由来をさぐる」

旧石器時代から中世、そして現在の市街地の基礎が形成された近世を経て、近代の都市・軍都へと変貌した熊本の歴史について紹介している。

2階 自然系展示

「熊本の自然にひそむ魅力と不思議に気づく」

地質分野では、熊本で見つかった化石、岩石、鉱物等の展示により大地の生い立ちを解説している。

生物分野では、熊本市内の身近な自然として、江津湖と金峰山の多様性について紹介している。

縣市連携展示室

熊本県博物館ネットワークセンター所蔵の自然系資料を展示している。



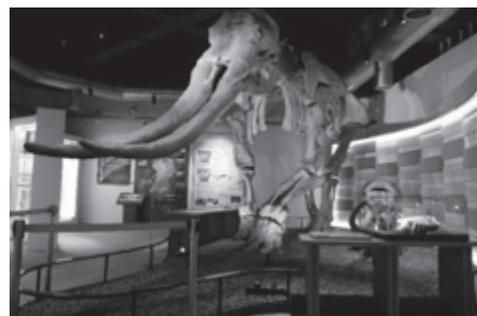
考古展示室



歴史展示室



民俗展示室



地質展示室



生物展示室

(2) 常設展示入替

【歴史・美術工芸分野】

- ・期 間 12月5日(火)～2024年3月12日(火)
- 内 容 刀《肥後同田貫宗廣造／天保十二年十一月日》
- 場 所 1階「成熟する肥後」

- ・期 間 12月5日(火)～2024年3月12日(火)
- 内 容 干支「辰」
岡本秋暉《雲龍図》
矢野良敬《富士越龍図》
福島峯雲《富士越龍図》
《黒漆塗雨龍蒔絵陣笠》
上野才兵衛《象嵌如意頭龍青海波文広口瓶》
- 場 所 1階「肥後の武士たち」

【民俗分野】

- ・期 間 11月18日(土)～
- 内 容 肥後琵琶資料・パネル入れ替え
- 場 所 1階「躍動する民衆」

- ・期 間 12月12日(火)～
- 内 容 雨乞い絵巻の展示場面変更
- 場 所 1階「躍動する民衆」

【考古分野】

- ・期 間 4月8日(土)～
- 内 容 轟貝塚が国指定史跡となったことから、当館に収蔵されている轟貝塚出土資料を展示
- 場 所 常設展示室1階「縄文土器コーナー」

【地質分野】

- ・期 間 4月4日(火)～
- 内 容 翼竜ニクトサウルスの全身骨格展示
および水前寺断層プロジェクション
マッピング展示

- 場 所 常設展示室2階
「熊本の大地のなりたち」

(3) 期間展示

ア 特別展 富田伊織 新世界「透明標本」展 関連展示

【植物】

- ・期 間 7月1日(金)～9月3日(日)
- 内 容 エノキ、ヒイラギ等の葉脈標本を展示
- 場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

イ 干支(辰年) 関連展示

【地質】

- ・期 間 12月28日(木)～
- 内 容 辰砂、恐竜の歯化石
- 場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

【動物】

- ・期 間 12月28日(木)～
- 内 容 コウベモグラの剥製と骨格標本
- 場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

ウ その他

【民俗】

●スポット展示

- ・期 間 5月15日(火)～9月17日(月)
- 内 容 電話機
- 場 所 2階ロビー

- ・期 間 9月18日(火)～2月4日(月)
- 内 容 名刺入・記念杯
- 場 所 2階ロビー

- ・期 間 2月5日(火)
- 内 容 記念切手
- 場 所 2階ロビー

【植物】

・牧野富太郎の書簡

期 間 4月4日（火）～9月24日（日）

内 容 牧野富太郎氏が上妻博之氏に宛てた書簡を展示した。

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

・アオギリの空飛ぶボート

期 間 10月3日（火）～11月19日（日）

内 容 アオギリの種子の散布方法について解説パネルと標本を展示した。

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

・カエデのひみつ

期 間 11月21日（火）～12月19日（火）

内 容 イロハカエデの紹介パネル、さく葉標本、種子標本を展示した。

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

・ヒイラギの葉っぱ

期 間 11月21日（火）～12月24日（日）

内 容 ヒイラギのさく葉標本を展示し、葉の形態について紹介した。

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

・冬芽コレクション

期 間 12月20日（水）～3月31日（日）

内 容 樹木の冬芽及び葉痕の紹介パネルと標本を展示した。

場 所 2階「ふしぎ発見のとびら」

【天文】

・全国プラネタリウムこども絵画

期 間 2022年3月28日（月）～5月8日（日）

内 容 プラネタリウムに100周年記念事業に伴い、子ども達にプラネタリウムの絵を送ってもらい、作品を放映開始前のプラネタリウム内で放映した。

場 所 プラネタリウム内待合スライドショーにて展示

・水の惑星写真パネル展

期 間 7月25日（火）～10月9日（月・祝）

内 容 放映中のプラネタリウム番組「水の惑星」の関連企画としてKAGAYA氏が世界各地で撮影した美しい海や星空の写真パネルを展示した。

場 所 実験・工作室、プラネタリウム前、エントランスロビー

(4) 展覧会

ア 特別展

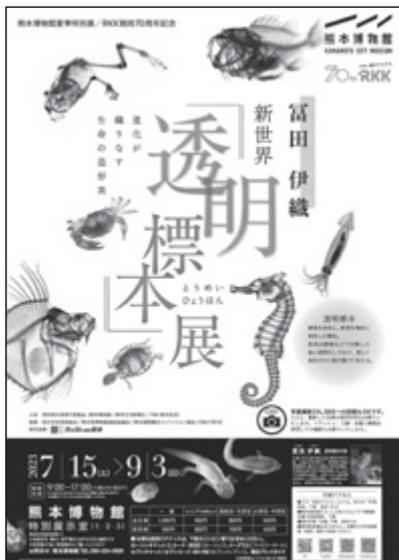
夏季特別展 富田伊織 新世界『透明標本』展

期 間 7月15日(土)～9月3日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 RKK熊本放送開局70周年記念特別展。標本作家富田伊織氏の製作した透明標本(硬骨を赤色に、軟骨を青色に染色した骨格標本。筋肉は酵素などで分解した後に透明化しており、美しく染色された骨が透けて見える)約500点を展示した。

来場者 41,261名



〈透明標本展ポスター〉



〈会場風景〉

特別展関連行事

・魚の解剖を見てみよう!

日 時 8月5日(土) 14:00～15:00

場 所 実験・工作室

参加者 31名



〈魚の解剖〉

イ 企画展

(ア) 立田山—身近な自然の魅力—

期 間 2022年3月18日(土)

～5月14日(日)

場 所 特別展示室3

内 容 立田山の成り立ちや変遷、生息している動植物について紹介。

来場者 8,329名(4/1～5/14)

関連行事(令和5年度分のみ)

・ミュージアムトーク(動物)

日 時 4月1日(土) 13:30～14:00

場 所 特別展示室3

参加者 29名

・ミュージアムトーク(地質)

日 時 4月16日(日) 13:30～14:00

場 所 特別展示室3

参加者 24名

・観察会(植物編)

日 時 4月23日(日) 10:00～11:30

場 所 立田山(多目的広場～山頂周辺)

参加者 30人

・観察会(動物編)

日 時 4月30日(日) 10:00～11:30

場 所 立田山(多目的広場～トンボ池周辺)

参加者 23人

(イ) 清正から受け継いだ名城

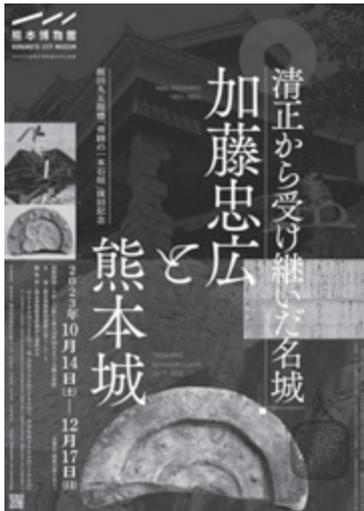
ー加藤忠広と熊本城ー

期 間 10月14日(土)～12月17日(日)

場 所 特別展示室1・2・3

内 容 加藤忠広時代の熊本城と支城に焦点をあてた展示。瓦を中心とした考古・民俗資料、古文書・肖像画等を出陳。

来場者 13,837名



〈熊本城展チラシ〉

企画展関連行事

- ・現地案内「くまはく学芸員指南！熊本城攻略法ー石垣の見方・歩き方ー」

日 時 10月28日(土) 10:00～12:00

場 所 特別史跡熊本城跡

担 当 下高 大輔(考古)

参加者 34名

- ・シンポジウム「ここまでわかった!!加藤清正・忠広ー熊本城と支城から見つめ直すー」

日 時 12月2日(土) 12:55～17:00

場 所 熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室(小ホール)

講 師 木下 泰葉 氏

(熊本市熊本城調査研究センター文化財保護主任主事)

大浪 和弥 氏

(宇土市教育委員会文化課学芸員)

大津山 恭子 氏

(山都町教育委員会生涯学習課学芸員)

鳥津 亮二 氏

(八代市立博物館未来の森ミュージアム学芸員)

下高 大輔 (当館考古担当学芸員)

参加者 153名

・展示解説

「気まぐれギャラリートーク」

日 時 10月28日(土) 15:00～16:00

場 所 特別展示室1・2・3

担 当 下高 大輔(考古)

参加者 11名程度

「ギャラリートーク」

日 時 11月3日(金・祝) 14:00～14:20

場 所 特別展示室1・2・3

担 当 下高 大輔(考古)

参加者 15名程度

「ギャラリートーク」(ナイトミュージアム)

日 時 11月25日(土) 18:00～19:00

場 所 特別展示室1・2・3

担 当 木山 貴満(歴史)

下高 大輔(考古)

参加者 30名程度

「耐久 60分、最後に全部しゃべります！」

一堂に会した城郭瓦！」(1日目)

日 時 12月16日(土) 10:00～11:00

場 所 特別展示室1・2・3

担 当 下高 大輔(考古)

参加者 20名程度

「耐久 60分、最後に全部しゃべります！」

一堂に会した城郭瓦！」(2日目)

日 時 12月17日(日) 10:00～11:00

場 所 特別展示室1・2・3

担 当 下高 大輔(考古)

参加者 25名程度

(ウ) 資料保存の世界

ー未来へつなぐ文化財の裏側ー

期 間 2024年3月9日(土)

～5月12日(日)

場 所 特別展示室1・2

内 容 保存という観点から文化財に焦点

をあてた展示。科学分析や処理方法、文化財害虫などを紹介。

来場者 4,858名 (3/9～3/31)



〈資料保存展ポスター〉

企画展関連行事

- ・ギャラリートーク

日時 3月16日(土) 14:00～14:30

場所 特別展示室3

参加者 16名

- ・シンポジウム「身近に潜む文化財害虫
ーお宝を食べてしまう虫について」

日時 3月17日(日) 14:30～15:30

場所 熊本博物館 プラネタリウム

講師 木川りか氏

(九州国立博物館 科学課課長)

参加者 49名

- ・バックヤードツアー

日時 3月23日(土)

①10:00～11:30 一般向けコース

②14:00～15:00 小中学生コース

場所 収蔵庫

参加者 ①10名 ②12名

- ・「和本を作ってみよう」

日時 3月30日(土) 10:00～12:00

場所 実験工作室

参加者 10名



〈資料保存展講演会風景〉

ウ 共催展

熊本市遺跡発掘速報展 2023

期間 2024年2月3日(土)

～5月12日(日)

場所 特別展示室3

主催 熊本市文化財課、熊本博物館

内容 昨年の発掘調査及び整理作業を行った遺跡の調査成果について出土遺物や写真パネルの展示を行った。

来場者 14,527名 (2/3～3/31)

関連行事

- ・ギャラリートーク

日時 2月4日(日) 10:00～11:00

場所 特別展示室3

参加者 63名



〈速報展ギャラリートーク〉

エ その他の展示

くまはく SL69665号100歳記念写真パネル展

期間 2023年1月11日(水)

～5月14日(日)

場 所 2階ロビー

内 容 屋外展示場のSL69665号機（1923年製造）が令和5年（2023年）1月に満100歳となったのを記念した写真パネル展。①現役時代の勇姿、②当館建設予定地への移設状況、③展示場での記念写真など、3部構成で展示。



〈豊肥線：立野を走る SL69665 号機〉